

## 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実態調査（案）

## 1. 全国の消防本部（728 消防本部（調査期間は 2 週間程度））

出動した救急現場において、傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をされていたことを、医師やご家族等（親しい友人、介護施設職員なども含む。）から伝えられた場合などの対応等について、下記の質問にご回答ください。

※ 本調査の結果について、消防本部名は明らかにいたしません。

## 【対応方針について】

問 1 貴消防本部において、傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をされていたことを、ご家族等から伝えられた場合について、何らかの対応方針を定めていますか。

- 1) 定めている。
- 2) 定めていない。

問 2 問 1 で 1) と回答した場合、その方針はどのような形式で定められていますか。

- 1) プロトコルやガイドラインなどメディカルコントロールで定められている基準
- 2) 業務規程などの消防本部で定めている基準
- 3) 基準などの形式で定めてはいないが、一定の方針を文書や口頭で周知
- 4) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 3 問 1 で 1) と回答した場合、その方針はどのような内容ですか。

- 1) ご家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合、医師からの指示など一定の条件の下に、心肺蘇生を実施しない、若しくは中断することができる。  
（このように定めた理由を簡潔に記載してください。： \_\_\_\_\_）
- 2) ご家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられても、心肺蘇生を実施しながら医療機関に搬送する。
- 3) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 4 問 3 で 2) と回答した場合、その理由はどのような内容ですか。（複数回答）

- 1) 応急処置をしながら医療機関に傷病者を搬送することが、救急隊の責務だから。
- 2) 法令上、心肺蘇生の不実施や、中止はできないと考えられるから。
- 3) 救急現場で傷病者本人の意思の確認を確実にすることは難しいから。
- 4) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問5 問1で2)と回答した場合、その理由はどのようなものですか。(複数回答)

- 1) ご家族等から心肺蘇生を拒否された事案がない、又は極めて事案が少ないので必要性がないから。
- 2) 方針を定めなくても、現場で適切な対応ができるから。
- 3) どのような方針とすべきか、現状では判断ができないから。
- 4) 国が統一的な方針を定めるべきだから。
- 5) 現在、対応方針を検討中。
- 6) その他(具体的に: )

**[具体的な事案について]**

問6 貴消防本部では、これまでに、傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、医師やご家族等から伝えられた事案はありましたか。(注 傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合についてであり、ご家族等の希望の場合は該当しません。)

「事案がある。」を選択した場合は続けて質問にご回答ください。「事案がない。」を選択した場合は、問20からの質問についてご回答ください。

- 1) 事案がある。
- 2) 事案がない。

問7 問6で1)と回答した場合、誰から伝えられましたか。(複数回答)

- 1) ご家族
- 2) 親しい友人
- 3) 介護施設職員
- 4) 医師
- 5) その他(具体的に: )

問8 傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを伝えられた事案について、傷病者に接した場所を教えてください。(複数回答)

- 1) 住宅
- 2) 介護施設等
- 3) その他(具体的に: )

問9 傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、伝えられたときの場面を教えてください。(複数回答)

- 1) 現場到着まで
- 2) 現場到着後、現場出発前

3) 現場出発後

4) その他(具体的に: )

問 10 傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、医師やご家族等から伝えられたときに、どのような方法で、傷病者の意思が伝えられましたか。(複数回答)

1) 傷病者本人の意思を示した書面

2) 医師の指示書

3) ご家族等の証言(医師を除く。)

4) 医師の口頭での指示

5) その他(具体的に: )

問 11 心肺蘇生を実施すべきか否かについて指示を受けるため、医師に連絡をとりましたか。(複数回答)

1) 医師に連絡した。

2) 医師に連絡しなかった。

問 12 問 11 で 1) を回答した場合、連絡した医師は次のどちらですか。(複数回答)

1) かかりつけの在宅医

2) かかりつけの医療機関の主治医

3) メディカルコントロールの医師

4) その他(具体的に: )

問 13 心肺蘇生をすべきか否かについて指示を受けるために医師(メディカルコントロールの医師を除く。)に連絡をとろうとしたものの、連絡がとれなかったことはありますか。

1) ない。

2) ある。(問 12 の 1)、2)、4) から選択してください。: )

問 14 問 11 で 1) と回答した場合、医師から心肺蘇生を実施せずに、又は中断して搬送するよう指示されたことはありますか。

1) ある。

2) ない。

問 15 問 11 で 1) を回答した場合、医師の指示に従い心肺蘇生を実施しなかった、又は中断したことがありますか。

- 1) 実施しなかった、又は中断したことがある。
- 2) 実施しなかった、又は中断したことはない。

問 16 問 15 で 1) を回答した場合、その後の対応はどのようにしましたか。(複数回答)

- 1) 心肺蘇生をせずに病院に搬送した。
- 2) 病院に搬送せず、医師の到着を待ち、医師に引き継いだ。
- 3) 病院に搬送せず、医師の到着を待たずに引き上げた。
- 4) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 17 問 11 で 2) を回答した場合、どのような理由ですか。

- 1) プロトコルや業務規程等の基準で、心肺蘇生を実施するよう定めているから。
- 2) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 18 傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた事案で、困ったり、迷ったりした場面について、以下から回答してください。(複数回答)

- 1) 関係者(ご家族同士や医師とご家族等)の意見の不一致
- 2) 担当の医師に連絡がつかないこと
- 3) 医師の到着までに時間が掛かること(長時間の現場待機)
- 4) 心肺蘇生を実施しないで医療機関への搬送を医師から指示された際の対応
- 5) 心肺蘇生を実施しないで医療機関への搬送をご家族等から申し入れられた際の対応
- 6) ご家族等から不搬送を申し入れられた際の対応
- 7) 心肺蘇生を実施しない場合の基準(プロトコル等)を定めていないこと
- 8) 困ったり、迷ったりすることはなかった。
- 9) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 19 傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたのに、ご家族等が救急車を要請した理由について、分かる場合は記載してください。

[具体的に: \_\_\_\_\_]

#### [その他]

問 20 貴消防本部において、傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた事案について、記録して集計をしていますか。(注 傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合についてであり、ご家族等の希望の場合は該当しません。)

- 1) 記録して集計をしている。



## 都道府県MC協議会票

### 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実態調査(案)

※緑色のセルの部分に回答を入力してください。

※設問中、特に指定がない場合は、原則「平成30年7月1日時点」の状況をご回答ください。

※事務局を合同で運営している場合は、両機関名をご回答ください。

貴MC協議会の名称		事務局運営機関の名称	
会長の所属機関		事務局運営機関の担当者氏名	
会長の役職		事務局運営機関の電話番号	
会長のお名前		事務局運営機関のメールアドレス	

＜傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた場合における対応について、以下の質問にご回答ください。＞

問1 貴協議会では、今までにご家族等から傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた場合に用いられるプロトコル等の策定を検討しましたか。1つ選んでください。

1. 策定している、又は策定中。 →副問1-1へ
2. 策定について検討中。 →副問1-1へ
3. 検討したが、策定しなかった。 →副問1-1と1-2へ
4. 検討したことがない。 →副問1-3へ

回答	
----	--

副問1-1 問1で「1. 策定している、又は策定中。 2. 策定について検討中。 3. 検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。検討を開始したきっかけについて、ご記入ください。(自由記載)

--

副問1-2 問1で「3. 検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。策定しなかった理由について、ご記入ください。(自由記載)

--

副問1-3 問1で「4. 検討したことがない。」を選択した方に伺います。これまで検討をしたことがない理由について、ご記入ください。(自由記載)

--

問2 傷病者は心肺機能停止であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた場合の対応について、貴協議会として、どのようにすべきだと思いますか。

1. 心肺蘇生を中止すべき。
2. 心肺蘇生を中止すべきでない。
3. その他

回答	
(3. の場合) 具体的に内容を記載してください。	

アンケートは以上になります。

今後の運営に活用させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

## 地域MC協議会票

### 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実態調査(案)

※緑色のセルの部分に回答を入力してください。

※設問中、特に指定がない場合は、原則「平成30年7月1日時点」の状況をご回答ください。

※事務局を合同で運営している場合は、両機関名をご回答ください。

貴MC協議会の名称		事務局運営機関の名称	
会長の所属機関		事務局運営機関の担当者氏名	
会長の役職		事務局運営機関の電話番号	
会長のお名前		事務局運営機関のメールアドレス	

＜傷病者は心肺機能停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた場合における対応について、以下の質問にご回答ください。＞

問1 貴協議会では、今までにご家族等から傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことをご家族等から伝えられた場合に用いられるプロトコル等の策定を検討しましたか。1つ選んでください。

1. 策定している、又は策定中。 →副問1-1へ
2. 策定について検討中。 →副問1-1へ
3. 検討したが、策定しなかった。 →副問1-1と1-2へ
4. 検討したことがない。 →副問1-3へ

回答

副問1-1 問1で「1. 策定している、又は策定中。 2. 策定について検討中。 3. 検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。検討を開始したきっかけについて、ご記入ください。(自由記載)

副問1-2 問1で「3. 検討したが、策定しなかった。」を選択した方に伺います。策定しなかった理由について、ご記入ください。(自由記載)

副問1-3 問1で「4. 検討したことがない。」を選択した方に伺います。これまで検討をしたことがない理由について、ご記入ください。(自由記載)

問2 問1で「1. 策定している、又は策定中。 2. 策定について検討中。 3. 検討したが、策定しなかった」を選択した方に伺います。協議をするメンバーに在宅医等の医療関係者を含めましたか。1つ選んでください。

1. 含めた。
2. 含めていない。

回答

問3 貴協議会では、傷病者本人の意思に従い心肺蘇生を中断した事案について、事後検証の対象にしていますか。1つ選んでください。

1. 常にしている。
2. 特定の場合には対象としている。(具体的にご記入ください。)
3. 傷病者本人の意思に従い心肺蘇生をしなかった、又は中断したということでは対象としていない。

回答	
(2. の場合) 具体的にご記入ください。	

問4 傷病者は心肺機能停止であるが、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを、ご家族等から伝えられた場合の対応について、貴協議会として、どのようにすべきだと思いますか。

1. 心肺蘇生を中止すべき。
2. 心肺蘇生を中止すべきでない。
3. その他

回答	
(3. の場合) 具体的にご記入ください。	

アンケートは以上になります。

今後の運営に活用させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。